

# 令和5年度 自治会連合会と地域市民の集い（住吉文化センター圏域）・議事録（敬称略）

1. 日時 令和5年10月8日（日）午前10時～12時
2. 場所 住吉文化センター 講堂
3. 出席者 23名
4. 書記 松木紀美子
5. 会議の概要 【司会進行：谷本助成金担当】

## （1）会長挨拶 志水会長

## （2）府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、山岡、林田、久保寺、川辺、谷本、松木（7名）

住吉文化センター圏域：都営南町四丁目アパート自治会、都営住南自治会、住吉小野宮自治会、南町東部自治会、住吉町会、分梅町南部自治会、都営分梅町四丁目自治会（7団体：16名）

## （3）府中市自治会連合会・自治会についての説明（谷本）

各町会・自治会の抱えている問題等聞かせて頂きたいので省略。

- ・関東大震災100年にあたり東京都の「自治会防災強化助成」の説明(谷本)

## （4）五部会の活動状況

### ・市民協働対策部（山岡）

- ①自治会活動賠償責任保険の申し込み今年は50件。
- ②市の協働推進部と連携し、様々なことの窓口となっている。本日のアンケートにぜひ問題を記入してほしい。
- ③市民協働まつりへ出展、協働の実践例を紹介する。

### ・生活安全対策部（林田）

- ①府中市の合同水防訓練に参加
- ②国際消防防災展にバス研修。
- ③10/22 府中市総合防災訓練に参加。
- ④交通安全パレードに参加する。
- ⑤ラジオ（防災とまちづくり）を放送している。

### ・環境対策部（川辺）

- ①9/13 スマートエネルギー展へバス見学会。
- ②市の空き家対策の取り組みに参加している。
- ③廃棄物減量等推進審議会の委員として参加している。

### ・福祉対策部（久保寺）

- ①市の福祉のまちづくりの会議に参加している。
- ②市の委員会、協議会、まちづくり推進委員会などに参加している。
- ③10月15日には福祉まつりで町会自治会と自治連の活動をPRする予定。

### ・デジタル化対策部会（谷本）

コロナ禍もあり、スマホ等での情報伝達などについて検討。

### ・助成金（谷本）

- 都町連の会議で東京都から賞味期限近い食品の配布について情報が伝えられている。  
アルファ米（白米、わかめ）申込期間10/25まで  
タイムリーな情報はメルアドの届け出があるところに通知している。
- 講師おまかせスマホ教室を計画中
- 関東大震災100年助成金（30万円まで）20件あまり代理申請済み

## (5) 懇談会

①アパート・マンションの建て替えなどで未加入者が増えた。班の編成を変えたいが、そのための住宅地図が手に入らず困っている。

・自治連：自治連の事務所にある。

②敷地内の放置自転車の処分費がかかり困っている。無料の回収業者はないか？

・自治連：資源回収業者に問い合わせると、鉄くずとして回収してくれるところもある。

○居住者の中に業者がいるので紹介できる。

③集合住宅だが共有部分に荷物などを置くことについて、どこまで許して良いものか？

○消防法違反になる。自転車などは倒れた時に避難の時邪魔になる。ひもなどで固定してもらおうよう伝えることも必要。また、消防署から置かないように注意喚起するシールももらえるので活用を！

・自治連：法的に正しいルールを知る。それを前提に運用ルールは自分たちで！（基準になるのは安全性）

④自治会内に新しく入居した方が、地域で暮らすルールがわからないケースや、古くからいる方で分からないケースもある。

○自治会で入居ルールを説明書を作って伝えている。

○都営は通路の電気代も自治会費でなど他と違う部分もある。敷地内の草取りも、昔は入居者が、今は業者が担当し、知り合う機会が減っている。

⑤市では回覧を LINE で始めているがどれくらい利用されているのか？

・自治連：府中市では、まだ、実際の回覧板をなくす話にはなっていない。スマホの利用レベルも様々なため、スマホ教室などを始めている。孫とのやり取りなどが入口になるのでは。回覧がなくなり自治振興費がなくなるとお金の面で困るとい話もある。当面は安否確認の役割として回覧板は残す方向で市は考えている。

○若い人は LINE で情報が取れるなら町会に入る必要がないとなるのではないかな？

・自治連：若い人は LINE などの教えてになってくれる人も多い。スマホ・タブレット教室を自治会で若い人が講師になり実施した。役員会はタブレットを使用し、ペーパーレスで実施できている。

○会員の減少とデジタル化でどう進めたらわからない。

・自治連：紙とデジタルのハイブリッドで進める必要がある。

コロナ禍の際、活動ができないから会費を集めなかったところもあったが、その分を災害対策などに回すのが良いのでは。関東地域だけが大きな災害が来ていない。LINE も進めるが、それ以外の地域のつながりを作るのが大切。「やっぱり自治会に入っていて良かった！」となるよう。

西東京市では 17%しか自治会加入率がない。府中市は 50%くらいある。防災の話をするとう自治会に興味を持ってくれる。

袋調理の話をするとう女性は興味を持ってくれる。ローリングストックの話も理解が進んだ。「協働まつり」で実演するので明来てほしい。

新聞紙や牛乳パックを全部回収に回すのではなく、防災のためストックしておくとうよい。

⑥関東大震災の補助金で、簡易トイレ、乾パン、バールを申請した。

⑦発電機（ガソリン）、ソーラー発電機、水、消火器を申請した。

⑧発電機（ポンベ）などを申請した。メンテナンスや指導方法を周知するようにしている。

⑨水害時ははげ上へ避難することになっているので、備えていない。地震時に集会所を避難所と出来るよう、炊き出し用のものを購入している。

・自治連：低温になるとカセットポンベは使えない。ガソリンやガスポンベは低温でも大丈夫。カセットコンロは 10 年（連続使用すると熱くなる）、ポンベは 7 年が使用期限。震災時は、3 日目でも公的支援は期待できない。

⑩住吉の自主防災組織で防災倉庫を申請している。次年度の予算となる予定。

・自治連：自主防災組織から市に依頼すると対応してくれることが多い。

## (6) 閉会挨拶